Update Information:　2026/11/18/ 7:59 PM

◆各話へのクイックリンク

お急ぎの方は、クイックリンクから各話へ直接ジャンプしてください。

□第五話

□第六話

Copyright@2026 D's

設定資料

「私が工業高校に進学した理由　一年三学期」

夢雄　美侶

Copyright@2026 D³S

Copyright@2026 D³S

設定資料

タイトル

「私が工業高校に進学した理由　一年三学期」
※前編　第一話　から　第二話　まで
※後編　第五話　から　第十話　まで

全体あらすじ

県立姫玉工業高校1年生の夢前美優の周りで起こるドタバタコメディ
しかし、内容は、エロ、コメディ、エロ、シリアス

シリーズ構成

・「私が工業高校に進学した理由　一学期」
・「私が工業高校に進学した理由　二学期」
　・クリスマス特別編（短編）
・「私が工業高校に進学した理由　三学期」

記号

□第〇幕　サブタイトル

〇場所

Copyright©2020 D³S

▽ト書き

Copyright@2026 D³S

全話共通設定

2026.08.10

※全話を通しての設定で

登場人物

◎メインキャスト

※シリーズを通してのキャストです

夢前　美優（ゆめさき　みう）（十五歳）

身長１６４センチ

本人は思っていないが、スタイはいい

高校一年生、（増本中学校出身）

成績は普通

ブラスバンド部に入っており、中学では　、

高校ではクラリネットを担当している

人前ではウヴな振りをしているが、内面は超エロエロ

ひとつ　ひとよりエロが好き

ふたつ　ふふふ　とスケベ心

みっつ　見たくてたまらない

よっつ　よろけて、わしづかみ

いつつ　いかせてなんぼやねん

Copyright 2026 D³S

高谷　智美（たかたに　ともみ）（十五歳）
身長１６０センチ
高校一年生
野球部マネージャー
三人の中では背も高くおしゃれ
みんなの前では経験済みの振りをしているが、実は経験無し
中学時代は、虐められていた
※智美の過去は二学期編で明かされる

中川　松子（なかがわ　まつこ）（十五歳）
身長１５４センチ
高校一年生（辺富中学校出身）
吉賀に恋する乙女
成績優秀
大学へ進学するためにカメラ屋でバイトをしている
同じ中学校の出身に小島がいる

小村　健一（こむら　けんいち）（十五歳）
高校一年生（増本中学校出身）
身長１７６センチ　スタイルもいい
イケメンで、女子にもてる要素をもちながらも、すごく純粋で
世間知らずなところあり。

Copyright@2026 D3S

吉賀　達郎（よしが　たつお）（十五歳）
高校一年生
身長　１６０センチ　体重４８キロ　華奢で色白
カリブ海に浮かぶ小国の外交官の息子
海外生活のため、露出など気にならない性格
小村のことが好きである

松村　純（まつむら　じゅん）（十五歳）
高校一年生
身長１６１センチ　体重５２キロ
普段は黒縁メガネをかけている
水泳部に所属している
根暗で温和しい性格
実は、服を脱ぐと、見事な筋肉質の肉体を持ち、ボクシング、空手、などを会得し　喧嘩はかなり強い
※松村の過去は第三部で判明

（補足）家族構成

■夢前家
郊外の住宅地に住んでいる

Copyright©2026 D's

二階建ての一軒家　よくある注文住宅
美優、美穂の部屋が二階にある

父　（現時点・無名）
普通のサラリーマン４０代
コンピュータ関係の仕事をしており、ＩＴに長けている

母　（現時点・無名）

姉　美穂（みほ）美優の二歳年上（十七歳）
秀才で成績は常にトップ
※中学までは、それほど成績はよくなく、中学のある出会いから
猛勉強し超難関国立大学に自宅から通っている
そのためか　おしゃれに疎くすっぴんで、服もシンプル

小村家
郊外の住宅地に住んでいる
二階建ての一軒家　よくある注文住宅

父　浩太郎（こうたろう）（四十四歳）
ごくごく普通の会社でサラリーマンをしている
しかし、裏では絶大な人気を誇るアダルト小説を書いており
稼いでいる。家族にはまったく知られていない。

Copyright©2026 D's

母　明日香（こむら　あすか）（四十歳）
専業主婦

妹　明日美（こむら　あすみ）健一の一つ下（一四歳）

吉賀家
代々カリブ海に浮かぶ小国の外交官をしている

祖父　吉賀　ＸＸＸ（現時点・無名）
父　吉賀　ＸＸＸ（現時点・無名）
母　吉賀　遥（はるか）

中川家
祖母　（現時点・無名）
日本海の海岸近くに住む
実は大地主

小島家
郊外の住宅地に住んでいる
二階建ての木造建築
小島の部屋二階の和室
隣が姉（優子）の部屋

Copyright©2026 D's

優子は、二年生で出演

○クラスメイト

２組の生徒は、３年間持ち上がりのため、変更はありません。

★主要人物

☆準主要人物

出席番号

１　足立（あだち）

２　井口（いぐち）
バレーボール部
喧嘩ぱやい正確をしている

３　池田（いけだ）
サッカー部
小島の仲間

４　石井　盆太（いしい　ぼんた）
通称　ボンソワール

Copyright@2026 D³S

５　岩山（いわやま）

６　遠藤（えんどう）

７　太田（おおた）

８　尾方（おがた）

９　柿本（かきもと）

１０　桂川（かつらがわ）

１１　木高（きだか）

１２　小島　智（こじま　とも）

☆

身長１７２センチ　普通体系だが、顔が大きいため振り、しかも、怪獣映画に出てきそうな顔

山岳部

二次元萌えキャラ大好き

好きな色は　ピンク

しかし。二次元キャラに飽き足らず、カワイイ男の子吉賀、松村のことも狙っている

Copyright@2026 D³S

二年生編では、姉（優子）がおり、美優の姉と同じ大学に通っている事が判明

★

１３　小村　健一（こむら　けんいち）
バスケットボール部

１４　塩屋　（しおや）
小島の仲間

１５　柴山（しばやま）

１６　白石　（しらいし）

１７　高石　（たかいし）

☆

１８　滝本　恵（たきもと　めぐみ）
ラグビー部
元々、美優、小村と同じ中学出身
がっちりした体格で、高校ではラクビー部に所属
二部の文化祭で、年上のＡＶ女性に好意を持ち、
クリスマスに関係を持ってしまう。
そしてＡＶ女性が、小村の父親と知り合いであり、

Copyright@2026 D's

滝本にはバレてしまう

１９　谷田（たにだ）
クラスではイケメンボーイで　もてる容姿をしている
いつも中林と連んでいる

２０　津世（つせ）
演芸同好会

２１　手柄（てがら）

２２　豊国（とよくに）

２３　中尾（なかお）
バドミントン部

２４　中谷（なかたに）

２５　中野（なかの）
バスケットボール部
身長が高い

Copyright@2026 D³S

２６　中林　（なかばやし）
２７　中山　（なかやま）
２８　永江　（ながえ）
２９　新田　（にった）
３０　沼田　（ぬまた）
３１　野村　（のむら）
３２　鼻瀬　（はなせ）
３３　百部　（ひゃくべ）
３４　福井　良樹（ふくい　よしき）
　　ラグビー部
３５　福山　俊雄　（ふくやま　としお）
　　山岳部

Copyright@2026 D³S

★　３６　松村　純　（まつむら　じゅん）
　　水泳部

★　３７　吉賀　達郎（よしが　たつお）
　　バスケットボール部

★　３８　高谷　智美（たかたに　ともみ）
　　野球部マネージャー

★　３９　中川　松子（なかがわ　まつこ）

★　４０　夢前　美優（ゆめさき　みう）
　　吹奏楽部　クラリネット担当

〇教師

竹田（たけだ）５０代
クラスの担任で、てっぺんハゲがあることから、入学早々からザビエルとあだ名を付けられる
見た目と違い、生徒思いの良い先生である

☆　土呂（とろ）４０代

Copyright@2026 D3S

保健体育担当
ゲイであり、男子生徒の股間を触るのが生きがい

落合（おちあい）男　五十代
工業化学科の教員

山田（やまだ）女　四十代
工業化学科の教員

■その他　（出数は少ないが、物語上　重要な役）

〇一学期に登場

マヌカンの店長（名前は未定）推定四十代
吉賀行きつけのアパレルショップ（ディーゼル）の店長
実際は、ディーゼルの日本支社長も兼ねている
当然、男好きで、吉賀が連れてきた小村にちょっかいを出す
スリムで長身の男性
金髪で指には付け爪

Copyright@2026 D's

〇二学期に登場

川崎　（かわさき）
三年一組　デザイン科　三年では一番のイケメンと言われている
大学受験で、推薦入学をしたく　大倉のいいなりになっている

古屋　豪（ふるや　たけし）推定三十代
※X接点の古屋と同一人物
小村のバイト先に客として登場
男色家である

須賀　小雪（すが　こゆき）推定　三十代
美人、ＡＶ女優をしている
文化祭で滝本と出会い、付き合うようになる

白井　幸子（しらい　さちこ）※二学期に出演
智美　中学時代のクラスメートで、智美を虐めていた

〇三学期で登場

花北　大悟（はなきた　だいご）※三学期に出演
露天商で、たこ焼きを焼いている

Copyright@2026 D³S

松村の父を尊敬している

浜田（はまだ）
高校二年生
身長１７０センチ　体重５４キロ　色白で華奢な身体
中学時代は、陸上の長距離をやっていた
美優の一学年上　吹奏楽部　暫定部長
美優と同じでクラリネットを担当している

二宮（にのみや）通称　ニノ
高校二年生
吹奏楽部　トランペット担当
浜田に密かに恋をしている

浜野　智恵（はまの　ちえ）
高校三年生
吹奏楽部の元部長を務める

清瀬（きよせ）
高校三年生　浜野と同じ吹奏楽部

Copyright@2026 D³S

背景

学校（主舞台）について

姫磨工業高等高校（ひめまろこうぎょうこうとうがっこう）

美優達が通う高校

県立高校であり

一組・デザイン科
二組・工業化学科
三組・電気科
四組・機械科
五組・溶接科
六組・情報処理科

で構成される。

各科ごとに校舎がわかれており、敷地はかなり広い

シャワー室を備えた部活棟があり、二十五メートルの屋外プールを備える

クラブ活動

男子生徒が大半を占めているため、女子はマネージャーとなることが多い

・吹奏楽部

県内一の実力があり数々の大会で優勝している

・バスケットボール部

Copyright@2026 D³S

・ラグビー部
・サッカー部
・テニス部
・バドミントン部
・山岳部
・野球部
・陸上部
・水泳部
・極真空手部
・Ｅスポーツ部
・鉄道同好会
・クイズ同好会
・演芸同好会

〇夢前家
若松町

〇小村家

〇吉賀の住むタワーマンション
新増山（しんますやま　レジデンス）
五十階建ての構想マンション　最上階に吉賀が住んでいる

Copyright@2026 D³S

Copyright@2026 D³S

目次

目次
「私が工業高校に進学した理由　一年三学期」……2
設定資料……4
タイトル……4
全体あらすじ……4
シリーズ構成……4
記号……4
全話共通設定　※全話を通しての設定で……6
◎メインキャスト……6
（補足）家族構成……8
○クラスメイト……11
○教師……16
■その他　（出数は少ないが、物語上　重要な役）……17
○一学期に登場……17
○二学期に登場……18
○三学期で登場……18
背景……20
学校（主舞台）について……20
クラブ活動……20
目次……23

Copyright©2026 D³S

第五話……27
サブタイトル……28
本話について……28
あらすじ……28
登場人物（本話のみ）……28
□第一幕　校内マラソン大会……29
○（三時限前の休憩時間）一年二組の教室……29
○（同）校門近く……30
○（同）校庭……32
○（同）校門付近……32
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……33
○（同）少し離れた場所……37
○運動場……41
○浜田が倒れている場所……43
〇吉賀が倒れこんでいる場所……55
〇松子がいる運動場のはし……55
〇吉賀が倒れこんでいる場所……55
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……60
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……64
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……65
第六話……67
サブタイトル「美優の事件簿」……68

Copyright@2026 D³S

□第一幕　尾行だぜ……69
○（夕方）県立姫磨工業高校の自転車置き場……69
○（夕方）街中……71
○（翌日の夕方）ブラスバンド部の部室……74
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……76
○駅前の喫茶店の入口……79
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……80
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……83
□第二幕　吉賀と浜田の関係……86
○（夕方）学校……86
○何処かの準備室前……87
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……88
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……90
（＃　回想　＃　←　開始　←　）……91
○（同）体育館……92
○（同）ブラスバンド部の部室……93
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……94
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……95
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……104
（＃　回想　＃　→　終わり　→　）……105
○（同）準備室……105
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……111

Copyright@2026 D³S

（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……112
（＃ＡＩによるイメージ画像＃）……113

Copyright@2026 D³S

「私が工業高校に進学した理由　三学期」

第五話

Copyright©2026 D³S

夢雄　美侶

サブタイトル

本話について

あらすじ

登場人物（本話のみ）

Copyright@2026 D³S

（ナレーション）

男子Ａ

男子Ｂ

中野

男子Ｃ

□第一幕　校内マラソン大会

今日は、県立姫磨工業高校のマラソン大会です
校庭を一周り、その後は学校の近所を十キロほど走るコースになっております。
なお、走るのは　男子のみで、女子は学校内で応援することになってます

〇（三時限前の休憩時間）一年二組の教室
　男子生徒が、体操服（ランパン、ランシャツに着替えている）
美優、智美、松子は、先に校門の方に行っているので教室にいない

▽男子Ａ　男子Ｂ　男子Ｃ、着替えながら話をしている

「あぁ、かったるいな、マラソンだぜ」

「ほんま、こんなことやってる学校って、今時ないよな」

▽中野（クラス委員）、教室の男子に声をかける

「早く、着替えて校庭に行けよ」

「ほーい」

Copyright@2026 D³S

松子
智美
美優
松子

（美優）

美優
智美

○（同）校門近く
女子生徒が集まっている
※工業高校の為、殆どの女子はデザイン科（約１００名近く）
美優、智美、松子は、デザイン科の女子とは少し離れた場所で、
話をしている

「寒いわね」

「ほんと、こんな寒い日にマラソンなんて、男子は大変よね」

「うんうん。縮こまって大変よね」

「縮こまるって？」

▽美優　慌てる

（やば）

「あ、あ、わ、私達のことよ。男子は、走るから温かくなるからいいわね」

「そうよね。せめて、教室でいいじゃないの」

Copyright@2026 D³S

浜野
美優
浜野
美優
浜野
浜野
美優

▽浜野　清瀬、美優の側を通る
「あら、夢前さん」
「あ、浜野先輩」
「ここから応援」
「はい。ええ。でも、寒くて寒くて」
「三年生になると、見送った教室に戻ってしまうわよ」
「そうなんですか」
「じゃ、風邪を引かないようにね気をつけてね」
「はい」
▽浜野　清瀬、去って行く

Copyright@2026 D³S

小村
吉賀
松子

〇（同）校庭
　男子が体操服（ランパン、ランシャツ）で集まっている
　陸上部のみ紫のユニフォームで参加している

▽小村　吉賀、身体を温めながら会話をしている

「なぁなぁ、吉賀、一緒に走ろうぜ」

「おっけー　小村君」

（数分後）

＃　ピストルの音　＃

▽男子生徒　一斉に走り出す
　校庭を一周すると、外に出るために校門の方に向かっていく

〇（同）校門付近
　美優、松子、智美、男子生徒が走ってくるのを待っている

「あ、来た来た」

Copyright@2026 D's

智美

（美優）

▽紫のユニフォームを着た陸上部、数人の塊が走りさっていく



（＃ＡＩによるイメージ画像＃）

「さすが、陸上部だわ。他を寄せ付けてないわ」

▽美優　選手の股間を見ている

（やっぱり、寒いと縮こまってて、もっこりが目立たないわね）

Copyright@2020 D³S

浜田　　＃陸上部の部員に混ざって、浜田が走っている＃

美優　　▽浜田、美優に手を振る

　　「夢前さん！」

　　▽美優、浜田の姿を見て手を振る

　　「浜田先輩。がんばって」

　　▽浜田、美優に手を振って去って行く

智美　　「ねぇ、今の誰？めちゃくちゃ　かっこよくない？」

松子　　「うんうん。めちゃくちゃ走るのが　様になってる」

美優　　「部活の一年先輩の浜田さんよ」

智美　　「うちの学校に、あんなイケてる人がいたのね」

（美優）　（そう。しかも私がイカした最初に人なの）

Copyright@2026 D's

智美　「どこの科」

美優　「機械科よ」

智美　「機械科か。今度、見にいってみよっかな」

松子　「だめよ。松村君が悲しむわよ」

智美　「ちょっとぐらい、浮気な素振りを見せるのもいいのよ」

松子　「だめよ。私はそんなことできないわ」

智美　「だって、松村君って、草食系なんだもん」

美優　「だからって、浜田さんはだめよ」

智美　「もしかして、美優も、ちょっと浮気する気があるんじゃないの？」

松子　「えー 小村君に 言いつけちゃうわよ」

美優　「もう、智美ったら、やめてよ」

Copyright@2026 D³S

智美　「わ、美優が焦ってる。おもしろい」

▽男子生徒、次々と美優達の前を走りさっていく

（美優）（ゆっさ、ゆっさ）

ランパンの股間の辺りが、激しく揺れている

（わ、大きい、これだから、マラソン大会は、たまんないわ）

▽小村　吉賀、美優達に近づいてきている

▽美優、股間しかみていない

▽美優、吉賀の股間をみつける

（美優）（お、今日の　はなまるじゃん）

小村　「よ！夢前」

▽美優、声に驚き視線を顔へ

小村と吉賀の顔を見る

Copyright©2026 D's

美優　「こ、小村君。が、がんばって」

松子　「吉賀君、がんばって」

▽吉賀　松子に手を振る

智美　「小村君と一緒に走ってるわね」

智美　「あの二人、サボるきだな」

松子　「いいじゃない。ほのぼのコンビで。ね、美優」

（美優）（やっぱり、吉賀は学校で一番か）

○（同）少し離れた場所

デザイン科女子が吉賀を応援している

女子生徒　「キャー、吉賀くん、頑張ってー」

女子生徒　「吉賀くん、こっちこっち」

Copyright@2026 D³S

智美　「さすが吉賀君。学校中の人気者ね」

（美優）　（そりゃ　学校でイッタやつだもんな）

〇松子、美優、智美が観戦している場所

▽松子、不安そうな顔をしている

▽智美、松子の顔を見る

智美　「大丈夫、吉賀君に限って、浮気なんて・・・・しないと思うよ」

（美優）　（そうかな、アイツは、誰でも射精するから、わかんねぇな）

松子　「うん、そうよね。吉賀君に限って」

智美　「そうそう、信じてあげ・・・・て」

〇デザイン科女子の場所

女子生徒　「吉賀君、カワイイ」

Copyright©2026 D³S

女子生徒　「彼女にして～」

美優　〇松子、美優、智美が観戦している場所

「それにしても、ウザいな」

〇デザイン科女子の場所

高橋　▽高橋（背が少し高い）、が声を荒げる

「ちょっと、あんた達、うるさいわよ」

女子生徒　「すいません」

高橋　「変な声で応援すると、吉賀君が、びっくりするじゃない」

女子生徒　「はい、気をつけます」

美優　〇松子、美優、智美が観戦している場所

「ねね、あの人、誰？　」

Copyright@2026 D³S

智美　「美優、知らないの？　」

美優　「うん」

智美　「今、デザイン科で、仕切っている二年生よ」

美優　「二年生なのに？　」

智美　「もうじき三年生になるじゃない、しかも、大倉が居なくなったから、
代わりの美術の先生が、来たでしょ。どうやら、親戚らしいのよ」

美優　「え？　新しい美術の先生っていうと、あの、ぬらりひょん　みたいな奴？　」

智美　「妖怪の固有名詞は、知らないけど、めっちゃ不気味なやつ
だから、デザイン科の女子は、あの子に逆らえないのよね。
それに、以前、大倉に取り巻きしていた、生徒は　今は悲惨な生活を送ってるわよ」

松子　「智美は、相変わらず情報通ね」

智美　「まぁね、野球部のマネージャーやってると、色々と噂を、耳にするから」

Copyright@2026 D³S

智美
松子

＃　最後の男子が学校の校門を出て行く＃

「じゃ、次は運動場の方に移動しましょうか」

「そうね」

＃三十分後＃

○運動場

女子生徒が、運動場の端で男子が戻ってくるのを待っている

＃しばらくして＃

一番の生徒が戻ってくる

▽陸上部部員、運動場のトラックを一周し、テープを切ったあと、
運動場の真ん中で倒れる

▽女子生徒数人、陸上部員に駆け寄っていく

＃次々と男子生徒が帰ってきては、運動場の真ん中に倒れ混んでいく＃

Copyright@2026 D³S

女子生徒　「大丈夫ですか」

女子生徒　「先輩、かっこよかったですよ」

＃　女子生徒は、推しの男子生徒の介抱に向かうようである　＃

美優　▽浜田、戻ってきてトラックを走っている

「あ、浜田先輩」

▽美優、浜田を目で追っている

▽浜田、ゴールし、運動場の空いている部分に大の字に寝転ぶ

美優　「私、ちょっと行ってくる」

▽美優、走って、浜田の方に向かう

智美　「美優、行っちゃたね」

松子　「そうね」

Copyright@2026 D³S

美優
浜田
美優
浜田
美優
浜田
美優

〇浜田が倒れている場所
▽美優、浜田の側にいく
「浜田先輩、お疲れ様です。素敵でした」
▽浜田、肘をついて上半身を少し起こし、美優の顔を見る
「美優ちゃん」
「かっこよかったです。」
「ありがとう。でも、陸上部の奴には勝てなかったな」
「そんなことありません。浜田先輩より遅い陸上部だった沢山しましたよ」
「そっか。来年こそは頑張るよ」
「はい」
▽浜田、上半身を起こし、自分のふくらはぎを揉みだす

Copyright@2026 D³S

浜田　「ちょっと無理しすぎたかな」

▽美優、周りを見る

男子生徒の脚や、太股を推しの女子生徒が揉んでいる

美優　「浜田先輩、よかったら、私がマッサージしましょうか」

浜田　「美優ちゃんが」

美優　「私、こう見えても、友達の背中に日焼け止め塗るの得意なんです」

浜田　「ひ、日焼け止め」

▽浜田、笑う

美優　「え、おかしいですか」

浜田　「ぜんぜん。じゃ、お願いするよ」

▽美優、近くの周りの女子のやりかたを見る

男子生徒のスネを跨いで、ふくらはぎを揉んでいる

Copyright@2026 D³S

浜田　▽美優、同じ様に浜田のスネの上を跨ぐように、しゃがんだ

美優　「きつかったら、座っていいよ」

「はい」

▽美優、スカートをまくり、浜田のスネの上に座る

浜田のスネに、美優のお尻の感触が伝わる

▽美優、浜田の太股を見る

美優　「先輩の足って、細いけど筋肉がちゃんと着いているんですね」

浜田　「男の足が細いのは、褒め言葉じゃないかもね」

美優　「そうなんですか。私は、浜田先輩の足、かっこいいと思いますよ」

浜田　「ありがとう」

美優　「じゃ、始めますね」

浜田　「お願いします」

Copyright@2016 D3S

浜田

▽浜田、背中を運動場の土の上につけて完全に寝転ぶ
　ランパンの膨らみが少し目立つ

（美優）

▽美優　浜田のふくらはぎを両出で掴み、指先に力を入れ揉み出す

「気持ち良いよ。痛みが引いていくね」

▽美優、揉みながらも、浜田のランパンの膨らみを見ている

（ああ、あの中に手を入れて、握ったのが昨日のことのように思えるわ）

▽美優、浜田のふとももを揉みだす
　浜田のランパンの陰茎も揺れる

＃浜田の陰茎が、ランパンの生地に擦れて、大きくなりだす＃

▽浜田、勃起していることに気付き、ランパンの上に手を置いて押さえる

美優

「どうしたんですか」

Copyright©2026 D's

浜田　「いや、なんでも」

美優　「手もマッサージしましょうか」

浜田　「手は大丈夫かな」

美優　「遠慮しなくていいですよ」

▽美優、少し移動して、浜田の太股に座る

▽美優、浜田のランパンの上に置いてある手を掴んで、上に持ち上げる

浜田のランパンが、テントを張る

美優　「ご、ごめんなさい」

浜田　「いや、謝るのはこっちの方だよ。恥ずかしとこ見せてごめんな」

美優　「恥ずかしくないですよ。こんなに立派なんですもの」

（美優）（私、何言ってんだ）

▽美優、浜田の腕を揉み出す

Copyright©2026 D³S

浜田　「美優ちゃんのマッサージが気持ち良すぎるからかな」

美優　「ありがとうございます」

（美優）（ああ、またまた、変なこと言ってる）

美優　「じゃ、もう片方の腕も貸してください」

▽浜田、反対の腕を美優に託す

▽美優、浜田の腕を揉み出す

▽浜田、ランパンのテントが上下に動いている

（美優）（わ、勃起したものが中で動いているわ）

美優　「はい、終わりました」

浜田　「美優ちゃん、ありがとう」

Copyright@2026 D'S

美優　「他にマッサージしてほしいところありますか」

（美優）（陰茎って言わないかな）

浜田　「もう、大丈夫だよ」

▽美優、近く女子を見る
女子が男子の太股をマッサージしている
女子は男子のランパンの中まで手を入れているようだ

（美優）（これだ）

美優　「そういえば、太股を忘れてました」

浜田　「そうだっけ」

▽美優、スネのに下がって座る

▽美優、浜田の太股をさすり出す

浜田　「気持ちいいよ」

Copyright@2026 D³S

▽美優、浜田のランパンの中まで手を入れる

▽浜田、美優の手を押さえる

浜田　「ここから先は、ダメだよ」

美優　「すいません。つい手が滑って」

（美優）（ダメか）

浜田　「でも、美優ちゃんなら、いいか」

美優　「え」

浜田　「すきにしていいよ」

▽美優、浜田のふとももものつけ根までを揉み出す

つけ根を揉むときに、インナーに包まれてるとはいえ浜田の睾丸が美優の手にあたる

（美優）（タマタマだわ。相変わらず、おおきいな）

Copyright@2026 D³S

（美優）　＃浜田はさらに勃起をする＃

（もう、浜田さんたら、カッチカチじゃない）

▽美優、思い切って、ランパンの中に手を入れ、インナーの上から勃起した浜田の陰茎までを一気にマッサージしはじめた

浜田　「あ、あ、あ」

▽浜田、美優の手が、陰茎をッする度に腰が浮く

（美優）　（わ、感じてる、感じてる）

浜田　「み、美優ちゃん。ちょっと」

美優　「どうしました。ダメですか」

浜田　「いや、とっても、気持ちよすぎて」

（美優）　（このまま、いかせちゃうわよ）

▽美優、インナーの上から浜田の勃起した陰茎を集中的に擦る

Copyright@2026 D's

浜田　「あ、あ、あ、あ、あ、や、やばい」

浜田　「うっ」

▽浜田、腹筋が硬直し、脚がガックとなる

▽美優、ランパンから手を出す

＃浜田のランパンに染みが広がる＃

（美優）（やったわ）

▽浜田、上半身を起こす

浜田　「美優ちゃん、ありがとう。もう大丈夫だから」

▽美優、浜田のスネからおり立ち上がる

▽浜田、立ち上がる

浜田　「ありがとう」

Copyright@2026 D's

▽浜田、その場所から去る

○松子と智美がいる場所

智美「吉賀君、遅いわね」

松子「小村君とゆっくり走っているんだと思うわ」

▽松村、学校に戻ってきて運動場のトラックを走りだす

智美「松村君が帰ってきたわ。私、行ってくる」

松子「うん。早く行って上げて」

▽松村、ゴールし、相手いる場所に倒れ混む

▽智美、松村のそばに駆け寄る

智美「松村君、がんばったわね」

▽松村、寝ている姿勢で、智美の顔を見る

Copyright@2026 D³S

松村　「高谷さん。もう少し早く走れると思ったけど、ダメだったよ」

智美　「そんなこと無いわよ。クラスの中だと大分早いほうよ」

松村　「そっか」

〇松子がいる場所

松子　「なかなか帰ってこないわね」

▽吉賀、一人で運動場に戻ってくる

松子　「あ、帰ってきた」

▽吉賀、運動場のトラックを走っている。

▽デザイン科の女子、吉賀に併走するようにトラックの外側を走っている

女子生徒　「吉賀君、がんばって」

女子生徒　「私の為に走って」

Copyright@2026 D's

女子生徒Ａ
女子生徒Ｂ
女子生徒Ｃ

▽吉賀、ゴールしトラックの中に倒れ混む
　すぐに、周りに女子生徒が取り囲む

○吉賀が倒れこんでいる場所
　多くの女子生徒が囲んでいる

○松子がいる運動場のはし

▽松子、吉賀の周りに女子が群がっているのを見て、吉賀の側に行くのをやめる

○吉賀が倒れこんでいる場所
　多くの女子生徒が囲んでいる

「吉賀君、がんばったわね。足　大丈夫？」

「きれいな　足が腫れたら大変よ」

「私が、介抱してあげるわね」

▽女子生徒Ｃ、吉賀の足の横に座り、吉賀の足をつかむ

Copyright@2026 D's

女子生徒Ｄ　「ちょっと、足を揉むのは私よ」

▽女子生徒Ｄ、吉賀の横にしゃがみ吉賀の足を揉みだす

女子生徒Ａ　「ちょっと、私よ」

▽高橋、吉賀のところにやってくる

高橋　「みんな、どいて」

▽女子生徒Ｄ、高橋の方を見る

▽高橋、腕を組んで女子生徒Ｄを睨んで見ている

▽女子生徒Ｄ、高橋の顔を見る

▽女子生徒Ｄ、吉賀の横から立ち上がり離れる

高橋　「吉賀君を介抱するのは、私よ」

▽高橋、吉賀のすねの上にまたがり座る

Copyright@2026 D³S

高橋　「さぁ、私がマッサージしてあげるわ」

▽高橋、吉賀の太股を両手でさすりだす

▽吉賀、顔の上に腕を置き顔を隠している

高橋　「綺麗な足だわ。女の子みたいなんだけど、しっかり筋肉もついてるし、やっぱり男の子なのね。」

▽高橋、手は、徐々に上の方へ

▽高橋、手を吉賀のランパンの中に滑り込ませ、インナーの上から吉賀の陰茎をさする

▽高橋、指先をインナーの中に入れ、吉賀の睾丸、陰茎を直につつきだす

女子生徒Ｅ　「ちょっと、あれ、触ってない」

女子生徒Ｆ　「本当」

▽女子生徒、吉賀のランパンの裾をのぞき込む

Copyright@2026 D'S

女子生徒Ｇ　「ちょっと、毛が見えてる」

女子生徒Ｈ　「わっ、やらしい」

女子生徒Ｉ　「私も見たい」

▽女子生徒ら、吉賀のランパンの裾を遠巻きにのぞき込む

吉賀　「あのぉ、僕の大事なところに あたってるんですが」

高橋　「あら?ごめんなさい。マッサージに一緒懸命で、気がつかなかったわ」

▽高橋、マッサージを続けている

吉賀　「もう、大丈夫です。」

高橋　「何言ってるの?」

▽高橋、ランパンの上から、勃起した吉賀の陰茎を握る

高橋　「ほら、ここ、カッチカッチじゃない。マッサージしなきゃ」

Copyright©2026 D³S

吉賀

高橋

女子生徒Ａ

高橋

吉賀

高橋

▽吉賀　上半身を起こす

「本当に結構ですから」

「どうすれば、いいのかしら？」

「中の膿を出さなきゃ」

「そうね。それがいいわ」

高橋、ランパンの上から勃起した吉賀の陰茎を扱き出す

「や、止めて下さい。」

「みんな、手伝って」

▽女子生徒ら、吉賀の手足を押さえる

吉賀は大の字に抑えつかれれてる

Copyright©2026 D³S

吉賀

吉賀

「ちょっと、ちょっと。止めてください」

▽高橋、吉賀の陰茎を扱くいている

「あっ、あん、あうっ」

▽吉賀、腰を上下に振る

（＃ＡＩによるイメージ画像＃）



Copyright@2026 D³S

高橋　「早く膿を出さないと、大変よ」

▽高橋、吉賀のランパンの中に手を入れ、直に陰茎を握る

▽高橋、ランパンの中で、吉賀の陰茎を扱きだす

吉賀　「あ、あ、あ、あ、あ、や、や、や、ばい」

高橋　「何が、やばいの」

吉賀　「い、いきそう」

高橋　「早く、膿を出しなさい」

▽高橋、激しく扱く

　吉賀のランパンは、激しく動いている

吉賀　「だ、だ、だめ、い、いく、いく、いく」

▽吉賀、足をピンとはり、大きく腰を持ち上げる

Copyright@2026 D³S

女子生徒Ｂ

女子生徒Ｃ

高橋

女子生徒Ｄ

▽吉賀、腰を落とす

▽高橋、ゆっくりと吉賀の陰茎を扱く

＃吉賀のランパンの先から、白い液体が地面に流れおちる＃

「キャー、キャー」

「いったわ。吉賀君が、いった」

▽吉賀、ハァハァと、荒い呼吸をするだけだった

「やったー。手術は成功ね」

▽高橋、立ち上がりどいた。

▽女子生徒Ｄ、吉賀の横にしゃがみ、ランパンの上から陰茎を扱く

「わぁ、ぐちょぐちょだわ」

▽女子生徒Ｅ、吉賀のランパンを捲る

Copyright©2026 D³S

女子生徒Ｅ　「いっぱい出してる」

女子生徒Ｆ　「くさいわ」

▽女子生徒Ｇ、吉賀のランパンの上から陰茎を扱く

女子生徒Ｆ　「太い」

女子生徒Ｇ　「わたしも」

女子生徒Ｈ　「わたしも」

▽女子生徒ら、代わる代わる、ランパンの上から吉賀の陰茎を扱いていく

（数分後）

▽小村、女子生徒がいなくなった吉賀のところくる

Copyright@2026 D³S

小村　「吉賀大丈夫か」

吉賀　「小村君」

小村　「すごかったな。助けにいきたかったんだけど」

吉賀　「ありがとう。大丈夫」



（＃ＡＩによるイメージ画像＃）

Copyright@2026 D's

吉賀
小村
吉賀

「小村君はひとり」
「うん。ひとり」
「夢前さんは」



（＃ＡＩによるイメージ画像＃）

Copyright@2020 D's

小村　「夢前なら、二年の先輩のところに行ってるよ」

▽小村、美優と浜田がいる方を向く

▽吉賀、同じ方向を見る

美優が、浜田にマッサージをしているところが見える

吉賀　「そっか。残念だったね」

▽小村、少し悲しそうな顔

▽吉賀、小村の悲しそうな顔を見ている

Copyright@2026 D'S

「私が工業高校に進学した理由　三学期」

第六話

Copyright © 2025 D³S

夢雄　美侶

サブタイトル「美優の事件簿」

Copyright@2026 D³S

小村

□第一幕　尾行だぜ

〇（夕方）県立姫磨工業高校の自転車置き場
　美優と浜田が話をしている

▽小村　吉賀、部活が終わり、帰宅するために、小村と自転車置き場に向かって
　歩いている

▽小村　吉賀、自転車置き場に近づいてくる

▽小村、遠くから美優の姿を見つける

「お、夢前だ。一緒に帰ってやるか」

▽小村、小走りで美優の方に向かおうとする

▽小村、近づいて行くと美優と一緒に浜田の姿が見える

▽小村、その場に止まる

▽吉賀、後ろから小村に追いつく

Copyright@2026 D³S

吉賀　「急に停まって、どうしたの」

小村　「あれ」

▽小村、美優と浜田のいる方を見る

▽吉賀、美優と浜田のいる方を見る

○美優と浜田がいる自転車置き場
　二人が楽しそうに話しながら、自転車置き場から去ろうとしている

▽美優　浜田、自転車置き場から校門へ向かって帰っていく
　浜田の顔見ながら笑っている

▽小村、二人が去った後も、その場所に立ったまま

▽吉賀　小村の肩を叩く

吉賀　「小村君、帰ろう」

▽小村、吉賀の顔を見る

Copyright@2026 D³S

小村　「うん。そうだね」

〇（夕方）街中
　小村　自転車を押しながら歩いている
　吉賀　その横を歩いている

▽吉賀、小村の顔見る

吉賀　「小村君、元気ないね。」

小村　「誰なんだろう」

吉賀　「誰って」

小村　「さっき、夢前といっしょにいた奴」

吉賀　「あぁ、ちょっとまって」

▽吉賀、目を瞑る

＃数秒後＃

Copyright@2026 D³S

▽吉賀、目を開ける

吉賀「僕のイケメンデーターベースによると、機械科の二年生で、ブラスバンド部に所属。夢前さんとは、部活の先輩、後輩の関係だね」

小村「かなりの男前だったし」

吉賀「さらに、イケメンデーターベースの詳しい解析によると、さっきの彼は、校内のイケメン偏差値は八十を超えているよ。ちなみに校内でイケメン偏差値が八十超えるのは、僕と、さっきの人くらいだ」

小村「なんだい、そのイケメン偏差値って。俺にもあるのか」

吉賀「もちろん。小村君のイケメン偏差値は六十だから」

小村「いや、そんなの当てにならないだろ」

吉賀「そうかな。えっと、小島君は、マイナスで測定不可能なんだよね」

小村「おお、なんて、正確なんだ」

▽小村、笑う

Copyright@2026 D³S

小村　▽吉賀、笑う

吉賀　＃　数秒後　＃

小村　▽小村、落ち込む

吉賀　「夢前と、あの人って付き合ってるのかな」

小村　「ただのブラスバンド部の先輩と後輩の関係でしょ」

吉賀　「そっかな。すごく楽しそうだったし」

小村　「小村君、心配し過ぎだよ」

吉賀　「マラソン大会の時だって、あの人のところに行ってたみたいだし」

小村　「そりゃ、先輩だからだって」

吉賀　「そんなもんかな」

Copyright@2026 D³S

小村　「そそ、そんなもんさ。まぁ、小村君よりはイケメンと思うけどね」

吉賀　▽小村、真顔になる

小村　「ごめん、ごめん。小村君の方が、ずっとイケメンだって」

吉賀　「やっぱり、付き合ってるのかな」

「そんなに心配なら、明日も見てみようよ。きっと、大丈夫」

〇（翌日の夕方）ブラスバンド部の部室
美優が片付けをしている

▽浜田、美優の近くにやってくる

浜田　「美優ちゃん。お疲れ様」

▽美優、浜田の顔を見る

美優　「お疲れ様でした」

浜田　「今日は、急いで帰るの？」

Copyright@2026 D³S

美優　「いえ、別に急ぎはないですけど」

（美優）（本当いうと、昨日は例の雑誌の発売日なんだよね。早く帰って読みたいけど、浜田さんならいいか）

浜田　「よかった。新しく駅前に出来た喫茶店のパフェが有名らしいんだ。一人で行くの恥ずかしいから、一緒に行ってくれないかな」

美優　「パフェですか。行きます、行きます」

浜田　「あ、お金は心配しないでね」

美優　「いいんですか」

浜田　「いいよ。俺は行きたいだけなんだから」

美優　「じゃ、ご馳走になります」

○学校の自転車置き場から少し離れたところ

小村と吉賀が、隠れて見張っている

▽美優　浜田、自転車置き場にやってくる

Copyright@2026 D³S

小村
吉賀

▽小村、美優、浜田の姿を見る



（＃ＡＩによるイメージ画像＃）

「くっそー」

「たまたま　だって」

Copyright D³S

小村
吉賀
小村
吉賀

〇自転車置き場
浜田、自分の自転車のロックを解除
▽美優　浜田、自転車置き場から出ていく
〇自転車置き場から少し離れた場所
吉賀と小村がいる
「吉賀、どうしよう」
「たまたま、帰る時間が一緒なだけだって」
「よし、現場を抑えてやる」
「なんか、いつのまにか浮気調査になってない」
▽小村　吉賀、後ろから着いていく
＃数分後＃
〇電柱

Copyright@2026 D³S

吉賀と小村が電柱に隠れている

▽吉賀、鞄からサングラスを二個取り出す

▽吉賀、一つを小村に渡す

吉賀　「はい、小村君、これをかけて」

小村　「なんだい」

吉賀　「見つからない為さ」

小村　「吉賀、俺は真剣なんだぞ。探偵ごっこみたいなことするわけないだろ」

＃数分後＃

○道

浜田、美優の後を付けている、小村と吉賀

小村はサングラスをかけている

（結局　小村君も楽しんでるじゃないか）

（吉賀）

Copyright@2026 D³S

浜田
美優
浜田
美優

（美優）

小村

＃数分後＃

〇駅前の喫茶店の入口
　美優と浜田が立っている

「よかった、誰も並んでない」

「さすがに平日の夕方ですもんね」

「じゃ、入ろうか」

「はい」

▽浜田、美優の手を繋ぐ

（え！）

〇喫茶店を少し離れた場所
　小村と、吉賀が　二人が入ることを見ている

「あいつ、手を握ったぞ」

Copyright@2026 D³S

吉賀　「寿司じゃなくてよかったよ。手が生臭くなっちゃうね」

小村　「吉賀、俺をおちょくらいないでくれよ」

吉賀　「すっかり、恋人気分だね」

▽美優　浜田、喫茶店の中に入る



（＃ＡＩによるイメージ画像＃）

○喫茶店の外側

美優と浜田は、窓際の席に隣同士に座る

Copyright©2026 D³S

（美優）

店員

浜田
美優
浜田

〇喫茶店の中
　窓際に美優、その横に浜田が座っている
（え、前じゃなくて、横なの）
▽店員、メニューを持ってくる
「いらっしゃいませ」
▽店員、メニューを浜田に渡す
▽浜田、メニューを広げる
▽浜田、メニューの半分を美優の方に見せる
　メニューにはパフェの写真がたくさんのっている
「どれにする」
「どれもおいしそう」
「好きなのを頼んでいいよ」

Copyright@2026 D³S

美優　「どうしようかな」

店員　「うちのパフェは、女の子には大きいかもしれませんね」

美優　「え、どうしよう」

店員　「彼氏と、一つを食べるのがちょうどいいですよ」

美優　「そうなんですね。浜田先輩、どれにします」

浜田　「じゃ、美優ちゃんの好きなのでいいよ」

美優　「じゃ、これで」

▽美優、メニューを指指す

○喫茶店の外

小村と吉賀が見ている

Copyright@2026 D³S

小村

吉賀

小村



（＃ＡＩによるイメージ画像＃）

「何いってるんだろう。気になるな。吉賀、この店に盗聴器をしかけてないのか」

「小村君、僕をなんだと思ってるの」

「親友を助けてくれる、未来から来たひと型ロボット」

Copyright@2026 D's

美優　＃数分後＃

浜田　〇喫茶店の中
　　店員が大きなパフェを一つ運んでくる

美優　「わぁ、大きい」

浜田　「本当だ。俺でも一人で食べれないや」

〇喫茶店の外
　　吉賀と小村が遠くから美優達の様子を伺っている

小村　「かーっ。どうしたらいいんだ」

吉賀　「ブラスバンド部の先輩後輩だろ、よくあることさ」

小村　「ライバル出現で、俺の心は、ボロボロさ」

吉賀　「すき家の　円板ネギトロ丼並みに、よくわかんないな」

小村　「お前のギャグには、つき合う元気ないよ」

Copyright©2026 D³S

吉賀　「だいたい、二人が付き合ってるって決まってないし」

小村　「そんなの、知らないよ」

吉賀　「まぁ、僕にとっては、強敵が居なくなるのは歓迎だけどさ」

小村　「その意味わかんない」

吉賀　「あ、気にしないで」

小村　「どうすりゃ、いいんだ」

Copyright@2026 D³S

□第二幕　吉賀と浜田の関係

〇（夕方）学校

▽浜田、部活棟に向かって廊下を歩いている

▽吉賀、浜田の後ろを歩いている

▽吉賀、浜田に声をかける

吉賀「浜田先輩」

▽浜田、立ち止まり、後ろを振り向く

吉賀の姿を見る

浜田「君は？」

吉賀「夢前さんと　同じクラスの吉賀です。」

浜田「美優ちゃんのクラスメイトか。何か用かい」

吉賀「ちょっと、話があるので、付き合ってもらえますか？」

Copyright@2026 D³S

浜田　「ここじゃ、ダメかい？」

吉賀　「ええ、他人に聞かれたくないことなので」

浜田　「そんな話があるのかい」

吉賀　「はい、先月の夜、部室で起こったの夜の出来事ですよ」

▽浜田、少し考える

浜田　「わかった」

吉賀　「じゃ、着いてきてください」

▽吉賀、歩きだす

▽浜田、吉賀についていく

〇何処かの準備室前

▽吉賀、扉を開ける

Copyright@2026 D³S

吉賀

浜田

▽吉賀、中に入る

▽浜田、吉賀について入る

「ここなら、いいでしょ」

▽吉賀、扉を閉め、鍵をかける

「どうしたんだい」



（＃ＡＩによるイメージ画像＃）

Copyright@2026 D³S

吉賀　「はい、あまり人には聞かれたくない内容だと思いますので」

浜田　「そうだね。思い出すのもいやだね。それを思い出させた君を軽蔑するよ」

吉賀　「僕にとっては、そんなことは　どうでもいいことなんですよ」

浜田　「じゃ、なんの話だい」

吉賀　「夢前さんとは、もう係わらないで欲しいんです」

浜田　「君には関係ない・・・ははん。君も美優ちゃんのことが好きなのか」

吉賀　「いえ違います。僕には、もっと好きな人がいます」

浜田　「じゃ、なんで」

吉賀　「僕が好きなのは」

▽吉賀、浜田に抱きつく

Copyright©2026 D³S

吉賀　「先輩です」

▽浜田、吉賀の両肩をもち話す

浜田　「ちょ、ちょっと待ってくれ。よくわからないよ」

吉賀　「あの日のこと、覚えてないんですね」

浜田　「あの日のことは、よく覚えているさ」

吉賀　「その後です」

（＃ＡＩによるイメージ画像＃）



Copyright@2

浜田　「あの後、俺は美優ちゃんに介抱されているうちに寝てしまって」

吉賀　「寝てしまって。それからは」

浜田　「それからって」

▽浜田、ハッとする

（＃　回想　＃　←　開始　←　）

第四話　浜田が、すもう取り、カマキリ、まんじゅうに犯された後

〇（夜八時すぎ）ブラスバンド部の部室

明かりは点いてないく、外の街灯の明かりが少し差し込んでいる

▽浜田、美優の膝の上で寝ていた

美優　「どうしたらいいのかしら」

美優　「とりあえず、誰かに手伝ってもらわなくちゃ。」

▽美優、浜田の頭をそっと床におき立ち上がる

Copyright©2026 D's

▽美優、ブラスバンド部の部室から出て廊下の窓から外をみる
体育館に明かりがついている
バスケットボールのドリブルの音がかすかに聞こえる

〇（同）体育館
吉賀が一人でバスケのシュートの練習をしている

▽美優、体育館に駆け込んでくる

美優「小村君！」

▽吉賀、体育館の入口を見る
美優の姿が見える

▽美優、吉賀を見て、かけよってくる

美優「吉賀君」

吉賀「あれ？夢前さん、どうしたの？」

美優「小村君は？いる」

Copyright@2026 D's

吉賀　「もう、うちに帰ってしまったよ、残ってるのは僕だけ」

美優　「どうしよう」

吉賀　「小村君じゃないとダメなの」

▽美優、吉賀の顔を見る

美優　「吉賀君、お願い　手伝って」

○（同）ブラスバンド部の部室

部室の中で、浜田が精液まみれのランパン姿で大の字に寝ている

▽美優、ブラスバンド部の部室に戻ってくる

▽吉賀、美優に続いてブラスバンド部の部室に入る

▽吉賀、暗いので、部室の電気を付ける

部室の真ん中に、ほぼ全裸で寝ている、浜田を見つける

Copyright@2026 D's

吉賀

（＃ＡＩによるイメージ画像＃）



▽吉賀、浜田のランパンが精液まみれなのを見る

「何があったの」

▽美優、吉賀の顔を見る

Copyright@2026 D³S

美優　「今は、説明できないわ」

吉賀　「そうだね。まずは、状態を確認しなきゃ」

▽吉賀、浜田の胸に手を当てる



（＃ＡＩによるイメージ画像＃）

吉賀　「大丈夫。かなり疲れてるみたい」

Copyright@2026 D³S

美優　「どうしたらいい」

吉賀　「そうだね。少し休ませて上げれば大丈夫だけど、いくら教室でエアコンが効いてるとはいえ、服を着せなきゃ」

▽美優、周りを見る

浜田のユニフォームが散乱しているが、精液まみれで着れたものではない

吉賀　「夢前さんは、運動部室棟に行って、それを洗濯してきて。それと、バスケ部の部室に行って、僕のカバンと着替えを取ってきてくれる。その間に、僕が、身体を綺麗にしておくよ」

美優　「わかったわ、お願いするわね」

▽美優、浜田の精液まみれのランシャツを拾い上げ部室から出ていく

○（同）ブランスバンド部　部室

浜田は寝ており、吉賀は浜田を見ている。

▽吉賀、浜田に近づき座る

Copyright©2026 D³S

吉賀　▽吉賀、自分の顔をを浜田の顔に近づける

「大丈夫ですか」

浜田　▽浜田、吉賀の声に気付き　目を少しあける

「あぁ、大丈夫。君は」

吉賀　「心配しないでください。夢前さんの友達です。」

浜田　「美優ちゃんの」

▽浜田、上半身を起こそうとする

吉賀　「あ、そのまま。安心して、僕に任せてください」

浜田　「ありがとう」

▽浜田、頭を床に付ける

吉賀　「何があったんですか」

Copyright@2026 D³S

浜田「悪いけど、思い出したくないんだ」

吉賀「そうですか」

浜田「すまない」

吉賀「いえ、いいんです。なんとなく想像つきますから」

浜田「そうだよな。男だったらわかるよな」

吉賀「そんな格好で寒くないですか」

浜田「少し寒いかな」

吉賀「今、夢前さんが、シャツを洗濯して、僕の着替えを取りに行ってくれてます」

浜田「そうか、ありがとう」

吉賀「でも、夢前さんが戻ってくるまで、僕が、暖めてあげますよ」

▽吉賀、浜田のランパンに手をかける

Copyright@2026 D³S

浜田
吉賀
浜田
吉賀

吉賀
浜田
吉賀

▽浜田、自分のランパンを抑える
「な、何をするんだ」
「こんなに、ぐちょぐちょじゃ、ダメでしょう」
「そう言っても」
「まずは、僕が綺麗に拭いてあげます」
▽浜田、手を離す
▽吉賀、浜田のランパンをゆっくりと脱がす
「ほら、お尻をあげて」
「大丈夫」
「遠慮しちゃだめですよ。ほら」
▽吉賀、浜田のランパンを脱がしていく

Copyright@2026 D³S

浜田の陰茎が飛び出る

吉賀　「じゃ、拭きますね」

▽吉賀、浜田の身体を舐め回すようにみる

吉賀　「顔もいいけど、身体はもっといいですね」

▽吉賀　バスケのユニフォームを脱ぎ、上半身裸になる
　　バスパンだけを穿いている

▽吉賀、浜田の身体の上に両手をついて被さる

▽吉賀、浜田の下半身に顔を近づける

▽吉賀、浜田の陰茎を咥える

浜田　「何をする気だ」

吉賀　「こうやって　身体を綺麗にするんですよ」

浜田　「やめてくれ」

Copyright@2026 D³S

吉賀　「嫌だといったら」

▽浜田、上半身を起こし、手で吉賀をどけようとする

▽吉賀、浜田の両手を掴む
　浜田、吉賀が手で押し合う

▽吉賀、力ずくで、浜田を床に寝かせる

▽吉賀、浜田にキスをする

▽浜田、目を大きく開く

▽吉賀、キスを止める

浜田　「や、やめろ」

吉賀　「あんな、おっさんや、ババァより、僕のほうがいいですよ。嫌なことは僕が、忘れさせてあげる」

▽吉賀、もう一度、浜田にキスをする

Copyright@2026 D's

吉賀

浜田

浜田

▽浜田、目を瞑る

＃数秒後＃

▽吉賀、キスを止める

「ほら、僕の方が、いいでしょ」

▽吉賀、浜田の胸を舐め始める

「あ、あ、あ、あ、あ、ダメ」

▽吉賀、手で浜田の陰茎を握り、扱き始める

「あ、あ、あ、や、やめ、やめてくれ」

（数分後）

▽吉賀、浜田の腹の上に座っている

▽吉賀、浜田の顔を見る

Copyright@2026 D³S

吉賀

「うそつき。こんなに沢山出しちゃって」

（数分後）

（三十分　経過後）

○ブラスバンド部の部室

吉賀、浜田が眠っている

Copyright@2026 D'S

（ガラッ）

＃部室のど扉が開く＃

（＃ＡＩによるイメージ画像＃）



Copyright@2026 D³S

▽吉賀、目を覚ます

▽美優、ブラスンバンド部の部室に入ってくる
　手には洗って乾かされたユニフォームを手に持っている

美優　「遅くなってごめん、なかなか落ちなくて、二回洗濯機まわしてたら、遅くなってしまったの」

吉賀　「しっ、大丈夫。浜田さんは良く寝てるよ」

（＃　回想　＃　→　終わり　→）

〇（同）準備室
　吉賀と浜田が立っている
　吉賀が話をして、浜田が聞いている

吉賀　「と、言うことです」

▽浜田、自分のおでこをを叩く

浜田　「なんだって、あの時の事が本当だったんだ。てっきり夢かと思ってた」

Copyright@2026 D³S

吉賀　「そうです。実際おこったことなんです」

浜田　「君は、なんてやつなんだ」

吉賀　「そうですか？本当に、そう思います？」

浜田　「当たり前だ。俺は、君を軽蔑するよ」

吉賀　「僕は、凄く　良かったですよ。校内一のイケメンと言われる浜田さんとで」

浜田　「何、言ってるんだ。おかしいよ」

吉賀　「僕は、また、浜田先輩と、したいと思ってるんですけど」

浜田　「そんな事、するわけないだろ」

吉賀　「本当に？」

浜田　「あぁ」

吉賀　「夢前さんのことは、忘れて欲しかったんだけどな」

Copyright@2026 D³S

浜田　「なんだって」

浜田　「君も、美優ちゃんのことが好きなのか」

吉賀　「僕が？冗談じゃないですよ。僕が好きなのは、浜田先輩って言ってるでしょ」

浜田　「何を言ってるんだ」

▽吉賀、浜田に近づく

▽吉賀、浜田の顔をじっとみる

▽吉賀、浜田の頭に両手をかけ、頭を近づける

▽吉賀、浜田の口にキスをする

▽吉賀、浜田から唇を離す

吉賀　「どうして、避けないの」

浜田　「急だったから」

Copyright@2026 D³S

吉賀　「先輩も、本当は、僕としたいんでしょ」

浜田　「何をばかな」

▽吉賀、浜田に近づく

▽吉賀、浜田のズボンの上から股間に手を置く

▽吉賀、ズボンの上から浜田の股間を揉みだす

浜田　「止めて」

吉賀　「本当にそうですか」

▽吉賀、浜田にキスをする

▽吉賀、浜田の口の中に舌を入れる

▽浜田、目をつぶる

▽浜田、吉賀の舌と自分の舌と絡め出す

Copyright@2026 D³S

吉賀

▽吉賀、キスを止め、浜田から顔を話す

「あの時のこと、思い出してくれました」

吉賀

▽浜田、黙っている

▽吉賀、浜田のズボンのベルトに手をかける

「脱がせて　あげるね」

吉賀

▽吉賀、浜田のベルトを緩める

浜田のズボンが、ストンと落ちる

浜田はズボンの下にランパンを穿いている

▽吉賀、ランパンの上から浜田の起った陰茎を握る

「ほら、ここは嘘を言わない」

▽吉賀、浜田の学ランのボタンを外す

▽吉賀、浜田の学ランを脱がす

Copyright@2026 D³S

吉賀

▽吉田、浜田のカッターシャツのボタンを外しだす

▽吉賀、浜田のカッターを脱がす

▽吉賀、浜田のシャツを捲り上げる

▽吉賀、浜田のシャツを床に置く

▽吉賀、浜田の身体を見る

「すごく綺麗な身体。僕は、綺麗なものが好きなんだ」

▽吉賀、学ランを脱ぐ

▽吉賀、カッターシャツを脱ぎ上半身裸に

▽浜田、吉賀を見ている

▽吉賀、ズボンを脱ぎ、ランパンだけの姿に

Copyright©2026 D³S

吉賀

（＃ＡＩによるイメージ画像＃）



▽吉賀、浜田に抱きつく

▽吉賀、浜田の胸に頬をこすりつける

「気持ちいい」

Copyright@2

吉賀

浜田

吉賀

「浜田さんはどう」

「悪い気はしないな」

「もっと、いいことをしようね」

▽吉賀、浜田の肩と腰に手を当てる

▽吉賀、浜田をそっと床に寝かせる

▽吉賀、寝ている浜田の横に座る

（＃ＡＩによるイメージ画像＃）



Copyright@2

▽吉賀、寝ている浜田に抱きつく



（＃ＡＩによるイメージ画像＃）

▽吉賀、ランパンの上から浜野股間を握る

浜田は勃起してランパンがパンパンに膨れている

▽吉賀、浜田のランパンの上から勃起した陰茎をさする

Copyright@2026 D³S

吉賀　「こんなになっちゃって、先輩ってやらしいですね」

▽浜田、ランパンの上から吉賀の陰茎を握る
　吉賀も勃起している

浜田　「その言葉、そっくり君に返すよ」

▽吉賀、浜田の顔を見る

▽吉賀、浜田にキスをする

▽吉賀、浜田の口の中に舌を入れて絡める

▽浜田、吉賀の舌を絡める

▽浜田、吉賀の口の中に舌を入れる

（数秒後）

▽吉賀、キスを止めて、浜田の顔を見る

吉賀　「この前より上手ですね」

Copyright@2026 D³S

浜田　「君の方こそ」

吉賀　「この前は、いつ夢前さんが戻ってくるか心配で、ゆっくりできなかったんです」

浜田　「そっか」

吉賀　「今日は、誰にも邪魔されませんね」

▽吉賀、上半身を起こす

▽吉賀、浜田のランパンを脱がす

▽吉賀、自分のランパンの裾から、陰茎を取り出す

▽吉賀、自分の亀頭を、浜田の肛門の穴に当てる

吉賀　「入れていいですか」

浜田　「あぁ」

▽吉賀、亀頭の先を浜田の肛門の穴に入れる

Copyright@2026 D³S

浜田　「あっ」

▽吉賀、浜田の肛門の中に少しづつ陰茎を入れていく

▽浜田、腰をゆっくり動かしながら、吉賀の陰茎が奥に届くのを待っている

浜田　「あーっつ」

▽吉賀、腰を前後に振り出す

吉賀　「あ、あ、あ、先輩、気持ちいい」

浜田　「あ、あ、あ、あ、あ、あ」

吉賀　「先輩の穴、めっちゃしまってる、き、気持ちいい」

▽吉賀、腰を前後に振っている

浜田　「お、お、俺も」

Copyright@2026 D³S

浜田　▽吉賀、浜田の陰茎を手で握り扱きだす

吉賀　「あ、あ、あ、あ、あ」

浜田　▽浜田、腰を上下に振り出す

吉賀　「あ、あ、あ、あ、や、やばい、い、いきそう」

浜田　「お、お、俺も」

吉賀　「一緒に」

吉賀　「い、い、いくぅ」

▽吉賀、上を向く

▽吉賀、上を向いたまま、浜田の陰茎を扱いている

浜田　「いく、いく、いく」

浜田　「うっ」

Copyright@2026 D³S

吉賀

＃浜田の亀頭の先から精液が飛び出す＃

▽吉賀、浜田の陰茎を扱いている

「うっ。だめっ」

▽吉賀、浜田の身体の上に倒れる」

（数秒後）

▽吉賀、身体を起こす

吉賀の腹には、浜田の精液がついている

▽吉賀、ゆっくりと浜田の肛門から自身の陰茎を取り出す。

浜田の肛門から、精液が流れ落ちる

Copyright@2026 D³S

「私が工業高校に進学した理由　三学期」

Copyright@2026 D³S